

平成 30 年度第 1 回図書館協議会会議録

日時；平成 30 年 6 月 6 日（水）

場所；半田市立図書館 第 3 会議室にて（会議開始 午後 2 時 00 分）

出席者【協議会委員】前田佳男、榊原かおる、横井学、小島典子、新美正巳、小宮山清子
榊原伯明（欠席 角芳満、秋田美由紀、石川幸子）＊敬称略

【事務局】

教育長 加来正晴、教育部長 岩橋平武、図書館長 古田敏之、亀崎図書館長 山下由美
副主幹 戸田豊志 田村元成、主査 榊原智子

館長：ただいまから平成 30 年度第 1 回半田市図書館協議会を開催いたします。本日は、10 名中 3 名の委員の方が欠席されていますが、過半数の出席をいただいておりますので、本会議は成立していることをご報告いたします。

続きまして、辞令を伝達いたします。今年度は任期が変わるため、全ての委員の方に教育長より辞令をお渡しいたします。

（辞令伝達）

教育長挨拶

「小学生が選ぶ 子どもの本総選挙」という人気投票があり、「ざんねんな生きもの事典」という本が一位になったそうです。最近では、本以外の様々なメディアの普及で、子どもの読書の機会が減りつつあります。しかしながら、半田市は文科省が行っている「全国学力学習状況調査」の「読書が好き」や「読書の時間」に関する項目において、全国平均を上回っています。これも委員の皆様のご尽力や図書館が行っているブックトーク、巡回文庫など様々な取組の結果であると思います。本日は、子どもの読書環境の整備、よりよい図書館づくりのためのご指導を賜りますようお願いいたします。

館長：ここで委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

（自己紹介）

館長：ありがとうございます。続いて事務局の自己紹介をいたします。

（自己紹介）

館長：会長、副会長の選任を行います。

委員：事務局のお考えはありますか。

事務局案としては、会長に前田佳男様、副会長に榊原かおる様をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（異議なし）

前田会長：よろしくをお願いいたします。（あいさつ）

委員：よろしくお願ひいたします。

館長：では、議事進行については、前田会長にお願ひいたします。

前田会長：では、次第に従って議事に入ります。

事務局：平成 29 年度の図書館利用状況について報告をいたします。

（図書館概要 11 ページ参照）分類別資料数の合計冊数の減少は、情報が古く利用価値がない閉架の本を計画的に除籍しているためです。

（図書館概要 14 ページ）入館者数、貸出者数、貸出冊数のいずれも減少しているが、「赤ちゃんとしょかん」事業や新一年生への貸出券の発行により、新規登録者数は増加（別刷資料参照）しています。

（図書館概要 19 ページ参照）全国の同規模の自治体では、半田市立図書館の貸出冊数が、16 位、愛知県では 3 位です。

平成 29 年度の図書館活動実績を報告いたします。

（図書館概要 22、24、21 ページ参照）「半田市制 80 周年記念としょかんまつり」、「あかちゃんとしょかん事業」及び、「あかちゃんとしょかんボランティア研修会」を実施しました。

亀崎図書館の平成 29 年度の活動実績を報告いたします。

（図書館概要 20 ページ参照）「亀崎図書館オタツシャ音読教室」、「お菓子作りと絵本の読み聞かせ」、「亀崎としょかんまつり」、「ブックトーク」などを実施しました。

前田会長：ここまでのところで、何かご質問はありませんか。

委員：「調べ学習お届け便」について教えてください。また「ぬいぐるみの図書館おとまり会」というのは、具体的にどういうことをするのか、以前から気になっていましたので、併せて教えてください。

事務局：「調べ学習お届け便」は、小中学校の調べ学習に必要な本を最大 50 冊まで、学校にお届けするサービスです。

「ぬいぐるみの図書館おとまり会」とは、アメリカの図書館で始まったことで、小さいお子さんに、図書館への親しみを持っていただくための行事です。ぬいぐるみをお預かりして、後日とりにきてもらいます。そのときに、館内で撮影したぬいぐるみの写真を添えて、図書館が選んだ本を 3 冊貸し出すというものです。

委員：わかりました。広報のときに、具体的な内容がわかるように書いていただくとよいと思います。

前田会長：では次の議題に移ります。平成 30 年度予算についてお願いします。

事務局：（図書館概要 35 ページ参照）新規予算の、利用者インターネット用プリンターの設置費用、あかちゃんとしょかん事業の消耗品、ボランティア謝金の計上について説明。

（図書館概要 31、32 ページ参照）平成 30 年度の活動予定について、児童文学講座（未定）、おとうさんのおはなし会、国会図書館のデジタル送信サービスとプリンター設置についての説明。

亀崎図書館の平成 30 年度の活動予定について、前年度とほぼ同じ内容です。

平成 22 年度に策定した「半田市子ども読書活動推進計画」が、来年度で 10 年になる。第 2 次計画策定のため、来年度、利用者アンケートを実施。その内容などを次回の協議会でお知らせするので、ご意見等お聞かせ願ひます。

前田会長：ほかに何かございませんか。

委員：先日武豊町の図書館に行きましたら、本を殺菌する機械が置いてありましたが、全国の図書館に普及し始めているのでしょうか。

事務局：1回に2冊程度しか殺菌ができないこと、機械の値段が高額であることなどから今のところ導入は考えていませんが、動向については気を付けていきたいと思います。

委員：最近の子どもの調べものは、インターネットを使うことが多いですが、それは自分で調べたというよりも、インターネットに教えてもらっている感じがします。

本や事典のページを捲って調べものをする過程で、いろいろな知識を得ることができるというメリットもあります。図書館で楽しみながら調べる力をつけるようなことはできないでしょうか。

事務局：他の図書館の例ですが、クイズや謎解きのような課題を館内の資料を使って調べる、というイベントがあるそうです。

委員：以前、野外に落ちていた種が、何の種かを子ども図書館で調べていたことがあり、楽しかった記憶があります。

館長：夏休みになると、親子で調べものをする方も多く来館されますし、レファレンスへの対応も増えます。

前田会長：パソコンは、簡単に詳細な情報が得られますが、読書で文字から得るものも大切であることを子どもたちに学んでほしいです。

小学校では朝読やブックトークなどで、本に親しむ活動をしています。子どもたちの読書に対する姿勢はどうですか。

委員：読書が好きな子どもは積極的に読んでいますが、読まない子は全くといった感じです。

前田会長：ほかに何かご意見、質問はございませんか。

委員：新しい本が棚に並ぶ日は、決まっていますか。

事務局：電算入力が済み次第新刊棚に出します。水曜から金曜日くらいの間でしょうか。

委員：ボランティア活動として、図書館で読み聞かせを行っていますが、一般の方が利用するスペースと隣接しており、気を遣うこともあります。短い時間でもあり、みなさんに受け入れていただいているようで、楽しんで続けています。

委員：新刊図書はどのようにして決めるのですか。また、リサイクルのため除籍される本はどうやって決めるのですか。

事務局：新刊図書は、リクエストで購入した本以外に、司書8人が、毎週届く新刊案内の冊子を見ながら発注しています。除籍本は、書かれている情報が古くなった本や、亀崎図書館で購入した本で、本館にも同じ本があるものなどが対象です。

また、司書全員が確認をしたうえで、県のラストワンチェック事業に基づき、県内に同じ本を所蔵している館があるかの確認もして除籍をしています。

委員：製本ボランティアをやっている立場から、ブックポストへ返却されると本が傷むのではないかと思います。どうでしょうか。

事務局：以前は、月火の連休明けには、2000冊以上の返却があり、ページが折れたりすることもありましたが、今は本がひどく傷んだりすることは、ほとんどなくなりました。

教育長：中学生の不読率が、小学生に比べて非常に高く、図書館に行かないという生徒も多くい

ます。そのような中、成岩中学校で、ボランティアによる読み聞かせを始めたところ、生徒は楽しんで聞いているそうです。

図書費が約 3000 万円ありますが、新刊図書をどのように選定しているかと、本のリクエストを受け付けているかを教えてください。

館長：司書が出版案内などを見て購入する本をチェックしています。個人からの本のリクエストも受け付けています。

昨年行われた「こども議会」でも学校図書館を通して、リクエストした本を借りられるといいね、という意見が出ました。

前田会長：他にないようでしたら、これを持ちまして第 1 回協議会を終了いたします。

館長：次回の協議会の開催は、平成 31 年 2 月の予定です。本日は、ありがとうございました。

(会議終了 午後 3 時 22 分)